

生産性向上と技能承継を推進するためのNC加工機の導入

技術ない人でも操作OK

池孝一代表取締役は機械の導入に踏み切った。

加工に從來は4日間かかったが、加工機では半日で終わっ

性能は目覚ましかった。例えば90センチ×60センチ、厚さ20ミリのパネルを20枚制作するとする。シナ材2枚の間に

た。しかも職人ではない、菊池氏の母親が操作した。材料のどの部分をどう加工するかデータを入力し、操作の仕方

6年前、家具作りの専門学
校を出た男女を採用したが、2

ベニヤを挟んで貼り合わせた板の一角を曲線状に切り取る

さえ分かれば木工技術がなくても十分にこなせる。

人とも2、3年で辞めてしまった。男性は実家の木工所を継ぐはずだったが、違う仕事に就くという。理由を聞くと「手作業が多い」

先ごろ納品を済ませた個人宅の仕事はクローゼットやキッチンカウンター、洗面化粧台など多数の家具を1カ月で制作した。同社がこなせる仕事量の200%に相当し、本来なら外注するところだったが「何とか挑戦してみよう」と全て内製でやり遂げた。

「仕事場がほこりっぽくてつらい」。作業環境の劣悪さに気づいた菊

るのが先か、設備投資が先か迷ったという菊池氏。今では「あの時、導入しておけば」と後悔しているという。



作業効率と生産性を格段にアップさせたNC加工機

え、本業の家具作り（工務店の下請け）にさらに力を入れる構え。自社のオリジナル家具にも挑戦したいという。

それでも全て機械というわけにいかないのが家具作り。菊池氏は「手作業でないといけない部分は残し、それ以外は機械と区別をつけて仕事をしていきたい」と話す。

■ 有限会社木材工芸キクチ

本 社：伊奈町小室6430-5

代表者：代表取締役 菊池孝一

設立：1978年5月

資本金：300万円

従業員数：1人

電話 : 048 (723) 0143

✕ **モ**▶オリジナル商品「思い出作り応援デスク」は親子で学習机が作れる。材料と机の形、機能を選び、職人が仕上げたパーツを一緒に組み立てる。思い出DVD付き。